

各派代表者会議会議録

日時：平成28年 5月12日（木）
午後 1時00分～午後 1時08分
場所：委員会室

出席者

渡辺昭司議長、澤田勝副議長
創造みらい半田 石川英之議員、志民ネット 小栗佳仁議員、
公明党 山本半治議員、日本共産党 山内悟議員、
事務局長 小野田靖、議事課長 山本兼弘、書記 榊原有佳子

協議題1 事業評価について

○渡辺昭司議長

協議題1 事業評価についてです。先回の各派代表者会議で、日程を前倒してはどうかとの考えにより、総務部長にお伝えし当局と協議をしました。中途半端な資料を出すのはどうなのかという点と、事業評価で評価していただいたものについて、28年度予算に反映しているものもありますとのことでした。実際に1か月程度で返事を求めると、その段階ではすぐ予算に反映した提示ができないという問題もあり、今の（事業評価の）日程でも、市長査定で次年度に組み込める日程としては十分なのです。昨年が、8月中旬に事務事業評価の資料が出たのですが、当局と協議した結果今年8月第一週頃に提出できるとのことです。昨年より半月早い日程で、調整を諮れないでしょうかとの問い合わせがありました。答えとしては、1か月後に出せる回答は、例年通り提出いただく。予算説明会時に、事業評価で予算化したものについての説明を来年させてもらうとの返答をいただきました。当局からの要望については、決算審査時に事業評価でやる内容については、特に質疑をしていただき、お互いその事業に対する考え方に相違がないように、特に内容を詰めていただきたい。資料の上段、市側の2番です。以下資料のスケジュールの流れでやってはどうかというのが、当局も含めた出た議長案です。いかがでしょうか。

○石川英之創造みらい半田代表

資料上段、市側の3番。前倒しすると不確定な資料になる。とのことですが、元々議会としては、不確定な資料でもいいのではという話だったと思うのですが、出せないということでしょうか。

○渡辺昭司議長

出せないとはまでは言われませんでした。不確定な資料で不確定な事業評価の協議をした場合、意見がまとまらないことや、違う内容となってしまうと事業評価ができなくなってしまうことが懸念されたことがあった。当局としても、1か月後にもらって、答えがしっかりしていない、予算に反映していないのではという認識が議会としてはあったのですが、やはり、予算に反映した内容のものもありますし、今のスケジュールでも次年度に反映できるタイミングであるとのことです。市長査定で可能だと中村議員が議長だったときに、確認はとれていると思うのですが。このようなスケジュールと内容で今年度取り組んでみるというのはどうでしょうか。根本的な総合計画との相違点などの部分は、客観的に埋められていない溝があると思うので、そこは議会側の宿題とし今後

どうしていくかを議運や特別委員会等でも調査するという方向でお願いいたします。今日、ここで合意をいただければ、役選後の委員長連絡会議等々で委員長へ伝えていただこうと思います。いかがでしょうか。

【「なし」との声あり】

それでは、各会派の皆さまにもお伝えいただきたいと思います。

○小野田靖事務局長

ご了解いただいたとなりますと、8月の第一週に当局から5日頃に事務事業評価を提出するとのことで、各委員会では8月中に事業選定をし当局に返すということよろしいでしょうか。

○渡辺昭司議長

そうですね。分科会の日程等を早めに決めていただきたいと思います。他によろしいでしょうか。

【「なし」との声あり】

以上で、各派代表者会議を終わります。

午後1時08分 閉会